

築く Mizuku

広報誌

12

No.666

2019 December



2019年度スローガン

継往開来

～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り拓く～

JCI  TM
Junior Chamber International Mizusawa

公益社団法人 水沢青年会議所



今年一年を振り返って

公益社団法人水沢青年会議所
理事長 千葉恭義

2019年度公益社団法人水沢青年会議所の活動を振り返るにあたり、多大なるご理解とご協力を頂きました奥州市をはじめとする関係各位の皆様、そしてOB諸先輩、活動を共にした会員の皆様に心より深く感謝と御礼を申し上げます。

本年は、継往開来（けいおうかいらい）～礼を尽くし、笑顔溢れる未来を切り開く～をスローガンに掲げ、水沢青年会議所のためにご尽力いただいた諸先輩方、携わっていただいたすべての皆様に感謝の気持ちを常に持ち、大切な仲間と共に「笑顔」でいっぱいの日を送れるよう運動を展開してまいりました。

7月には奥州いさわカヌー競技ならびに湖畔スポーツ体験会を開催し、奥州いさわカヌー競技会場として注目を集める中、エコやグリーンツーリズムなどの着地・滞在型の観光事業の産業規模が大きいことにも注目し、スポーツの魅力と観光資源が連携することが、奥州市へ多くの観光客や来訪者を呼び込む可能性となると捉え、次世代を担う子供たちや保護者・地域おこし協力隊の視点も活かしながら、人口減少に歯止めをかける基盤を創出する一助と致しました。また、8月には次世代を担う子どもたちの育成事業としてサマチャレ奥州2019奥州キッズ探検隊～地球はぼくらの遊園地だ！～を開催し、未来を担う奥州地域の子どもたちに親元を離れ日常生活では得られない実体験や挑戦の場を創出し心身の健全な成長を促し、郷土の豊かな自然と触れ合うことへの感動、仲間で行動することの楽しさ、チャレンジ精神の大切さ

を感じてもらう機会を創出致しました。9月には第62回奥州インディアン旗野球大会を開催し、野球というスポーツを通し、子どもたちの心身の健全育成と同じ地域の仲間たちとの交流、親同士の交流の場を創出し、地域コミュニティの活性化を図る一助と致しました。

恒久的な世界平和、持続可能な解決策、自己成長。この地域の、明るい豊かな社会実現の為に活動する我々。30人で活動するのか？50人では？100人では？明るい未来を考えたとき、答えは明白であり、地域の事を本気で考える人間を、仲間を増やしていこうとスタートした2019年。皆様の多くのご支援により、11名の新入会員を迎えることが出来ました。私たちは一人では何もできないかもしれませんが、共に歩む仲間がいればこそ、自分の限界を突破し、地域の為、会社の為、家族の為に力を発揮できると信じております。

我々は青年会議所に入会しない選択肢もあったかも知れません。しかし、この道を選んだ、地域ふるさとを牽引する青年であるからこそ、これまでを受け継ぎ、発展させながら笑顔で未来を切り開いていかなければなりません。明るい豊かな社会の実現に向け、これからも青年会議所の運動に邁進していくことをここにお誓い申し上げますと共に、今後ともご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。

岩手県知事との意見交換会及び調印式

11月26日(火)、ホテルメトロポリタン盛岡NEWWINGにて、岩手県知事との意見交換会及び調印式が開催されました。

まずは岩手県知事達増拓也様より、岩手県でのSDGsの取り組みをご説明いただき、今後様々な活動においてSDGsが強く求められることを改めて実感させていただきました。

また、県内13の青年会議所を代表し、盛岡青年会議所、北上青年会議所、江刺青年会議所よりそれぞれで行った事業のプレゼンをしていただきました。それぞれに対し、県知事からコメントをいただき、今後の活動についての参考となりました。

そして、全国で初となる、青年会議所ブロック協議会と県とのSDGsに関する連携協定を結ばせていただきました。岩手県と強力なパートナーシップが結ばれたことにより、今後、様々な事業において岩手県と協力してSDGsを推進してまいります。

事務局長 相津 恒輔



（公社）日本青年会議所 東北地区 2019年度 岩手ブロック協議会
手県知事との意見交換会及び調印式



胆江青年懇話会主催

OneLoveタウンキッズワーカーズ

11月10日(日)に開催された「One Loveタウンキッズワーカーズ」に水沢青年会議所から胆江青年懇話会に出向させていただきました。当初は運営の方を従事すると思っておりましたが、江刺のパン工房「くろしえっと」の出店としてイベントに参加させていただきました。

何もかもが初めてで、子供たちにパン屋さんとして何を伝えられるか、とても心配でした。仕事の楽しさや大変さを少しでも分かりやすく理解してもらえよ

うに考えながら子供たちと接していました。

驚いたことに、私の接客を一度見ただけで、「さっき見ていたのでわかります！」と私と同じ接客をしていた小学生がいました。子供たちの物事を覚えるスピードはとてつもなく速いと実感しました。

最後に、パン屋さんを体験した子供たちから「パン屋さんが一番楽しかった！」と言ってもらったのがとてもうれしくやってよかったと強く思いました。来年もぜひ参加したいです。

総務広報委員会委員 菅原 拓



2019年度卒業生

入会年度	卒業生	企業名
2008年度	高橋 幸博	水沢ツーリストサービス(株)
2012年度	千葉 俊哉	(有)乙女屋
2015年度	小野寺 忠徳	(株)小野忠石材店
2017年度	菊池 千都	(株)東邦
2018年度	小林 昭彦	(有)小林佐平商店

Next event Schedule

〈今後のスケジュール〉

12月 (December)

11日(水)
12月例会並びに卒業式
inプラザイン水沢



1月 (January)

11日(土)
定時総会並びに新年初顔合わせ
in水沢グランドホテル



公益社団法人 水沢青年会議所

2020年度新年初顔合わせ開催

2020.1.11(土) 会場：水沢グランドホテル

2020年度スタートの門出の日「新年初顔合わせ」を開催致します。今までの歴史と共に、また更なる歴史の一頁を会員が一丸となり活動をしてまいりたいと思います。伝統と格式ある新年初顔合わせでは、ご来賓、OB諸先輩、来訪JCIの皆様へ水沢力を発信し、またご指導ご支援を頂く貴重な時間であると考えます。私たちはこの奥州地域で、青少年健全育成事業・社会開発事業や、自己の能力開発向上の事業を通じ、様々な視点で活動してまいります。またそれと同様に共に活動し、共に喜びを分かち合う仲間を随時募集しております。明るい豊かな社会を共に築き続けるために更なるご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

編集後記

私は水沢青年会議所に入会して1年が経ちますが、まだまだ知らないことがいっぱいあるものだと改めて思った一年でした。「無知の知」とは「知らないことを自覚する」というソクラテスの言葉ですが、自分の得意分野だけでなく、私の知らない活動をして地域に貢献している方々に敬意を表しながら、もっと広く勉強して行きたいと思っています。

総務広報委員会 委員
佐藤 訓久

水沢青年会議所の仲間に入りませんか？

会 員 募 集

地域の青年のみなさん！他業種の、それも同年代の人々と幅広く勉強し、一緒に行動し、そして友情の輪を広げてみませんか？そうした事の出来る団体が、青年会議所です。40歳までをどう過ごすか、共に考え活動していきましょう！

修練・奉仕・友情を信条とし、よりよい社会づくりを目指す。

青年会議所は大きな可能性に向けての自己投資です

表紙写真 2019年築く表紙

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております！